京城新報

●新聞料　▲一ヶ月前金二十錢一ヶ月金五錢●三ヶ月前金貳圓▲六ヶ月前金拾錢▲郵税一ヶ月金拾錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰暦　五月十五日
發行編輯兼印刷人　秋山忠三郎
京城西署西小門通
發行所　京城新報社　電話六六三番

故李容翊（二）

翠山生

▲言ふ迄もなく勤勉力行は身を立て產を興す唯一の母である、彼れは浦鹽に出稼ぎしてから彼れ是れ十年の年月を送つたが刻苦奮勵の結果終には相當に蓄財も出來又國の兩親の許にも幾程づゝかの仕送りも出來るやうになつたのである、ソレに彼れは前にも述べた通り根が賢い性質であるから斯く激烈なる勞働に從事して居る間にも寸分も無駄に時間を空費するやうな事はせず餘暇を偸んでは孜々として露西亞語の研究に怠りなかつた、果して其の効空しからずて今は可なりに文字も解し言葉も操つる事の出來るやうになつたのである、

▲而り十年の苦心は漸く其の効を現はし來たので彼れは何事をか面白き職業を求めんものをと那れよ是れよと種々と探索した終漸く爰に彼れに取つては御前上等ともいふべき誂ひ向きの仕事が眼の前へブラ下つて來たのである、ソは何でありやといふと露國陸軍省の通譯である、ソコで彼れは早速其の日から日雇人足の足を洗ひホク／＼もので今日はもう一個の小兩班サラミーと成り濟まして了つた、思ふに彼れが滿腔の得意察すべきである、而して彼れはいども眞面目に熱心に而も得意に通譯の職に從事して居つたが一を取つて二を望み二を得て三を冀ふ彼れの向上心は月日の經つに從つて益々激しくなり、機も有らば中央の舞臺に乘り出して一か八かの兼ね合ひの活動を試みて見やうとの念が勃々として湧くが如くであつた、

▲ソレにつけても今の土地今の職業では將來更らに何の見込もつかず、此奴ア一番漢城の舞臺に押し出すに如くはなしと思ひ附いたが早いか彼れは早速通譯の職を辭し、多年貯へた小金を巾着の中に捻ぢ込んで京城差してやつて來たのである、サテ差し當り京城に乘り込んで來たものゝ首尾よく彼れが野心を遂ぐべき相當の手蔓の無い所から一時は大に思案に暮れたが、地獄の沙汰も金次第金さへ儲かれば此方のものと徐ろに計劃することゝしたがマヅ最初に金儲けの方法として例の開城の人蔘に關係を附け其の結果運宜くも多大の金を手に握つたのである、

▲所で如上の彼れが野心といふは何んであるかといふとマヅ彼れが何等かの手段を遁らし方法を講じて宮中に出入し次で皇帝に接近し追つては皇帝の股肱の臣となり行くくは自分が天下の政權を握らうといふ少々細くない非望である呼々首を回うして丹が前程を顧みなば之れ人の數にも入らぬ一個微賤のムリチャンス野心の程度も素晴らしいものである、

▲サテ彼れが懷中には少なからぬ阿堵物が鳴りを生じて居る、彼れが野心は日を經ると共に炎ゆる許りである、鬼に金棒辨慶に七ツ道具、天下此の位氣强いものはない、彼れが得意は勿論言外である、ソレから彼れ是れする内に何處を何んな工合に切ッ掛けたか何時の間にか希望通り宮中に出入する端緒を切り開き頓て皇帝に接近することゝなつた、固より虛より實を生じ無より有を出す底の慓い腕前を持つて居る彼れの事であるからソコは何んとか如才なく立廻つたことであらうが兎も角宮中に出入するととなつてから間も無く皇帝の厚き信任を受け殊に財政上の事に關しては細大となく彼れに託りになつたものである、

●採木會社經營準備

鴨綠江採木會社の細則決定に就ては先日來我外務省陸軍省に於て當局者に數回協議を重ぬる所あり我出資額百五十萬圓は一時に支出すべき乎或は數回に分つべき乎等事業開始に必要なる準備條項略々決定したるに付來る十三日奉天に於て商議すべき日淸委員會の本邦委員に傳達する筈なりといふ該委員は一名にして奉天總領事任命せらるゝ事となり居れるが同總領事は大連病院に入院中なるを以て期日迄に快復せざれば他に其任命を見るべく又木材廠員數名も同地に出張する筈なりと右に就き淸國側にては該問題交涉の局に當れる唐撫は十日前後北京より奉天に歸任すべき筈にて既に徐總督は右研究の爲委員三名を鴨綠江流域に派遣し着々準備中なりといふ因みに江蘇、浙江鐵道會社は枕木伐採の爲渾江流域に於て殖林商會を設立せんことを願ひ出で既に總督の許可を得たり其の他渾江流域に於ける伐木會社の出願者多しといふ

評世ぐさ

●外國々旗掲揚の始

明治三十八年十月中旬英國支那艦隊旗艦ダイアダム外數隻來朝す、日英同盟新條約發表始めての來朝なれば官民之を歡迎し日英國旗を交叉して軒頭に掲揚し以て歡迎の意を表したるを始めとす

小說　新不如歸（三十五）

篠原嶺葉著

女も少しく醉が廻つたらしく、衣紋が亂れて腿のあたりが現れて居るも心注かず媚のある眼色で男を見ながら、

『本當に濟みませんでしたことね、私もこれまで隨分心配致しましたけれども何分結婚ばかりは私の自由に爲せて下されど天で私の云ふことに耳を貸さないもんですから、眞個私も困つて了ひました、しかし此度の嫁につきましては、私も少々思慮がございますから、どうぞ今暫く我慢して覧て下さい、必然島子さんの望の協うやうに致します、まだ敏男も旅行して歸つて來ませんから明日にもお宅へ伺つて、島子さんには私から能くお話致しませう。』

男は眉に不審を描き

『島子の希望を協へてやると有仰るは』

女は四邊を憚る潜び聲で、

『なあに、暫くする中に今の嫁を離緣して島子さんの希望を協へると申すのですよ。』

男も稍に調子を低め、

『でも、貴方、敏男さんがそれ程好でた貰ひなすつたんですもの、然う容易く離緣なさる理には行かんでせう』

『いくら敏男が可愛がつたからッて、そこは貴方嫁と姑ですよ、姑の氣に入らん嫁が奈何して辛抱が出來るもんですか』

『いや、なる程解りました、貴方が然ういふ御精神なら、乾度旨く行くでせう、それならば娘には私からも能く云ひ聞かせますから、貴方も又氣の引立やうに聞かせなさつて下さい。』

『宜うございます、明日にも伺つて氣の休まるやうにお話爲ますよ。』

『自分勝手な事ばかり云つて嘸ぞ可厭でせうが、これも何やらの因緣だと諦めて勘辨なすッて下さい。』

女は、冷きつた酒を自焦に飲んで、

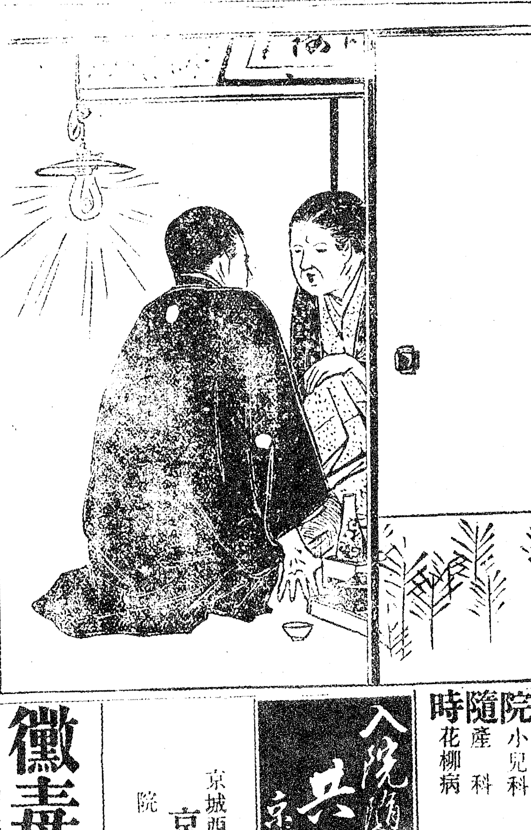
『本當に世の中の事と云ふものは、何故思ふやうにならないでせう、考へると可厭になつちまいますね、貴方と偶然うして會ふのでさへ、ひよッと知つた人に見付かりやう爲ないかと、刀の刄でも渡るやうな思を爲てるんでせう、それに又こんな心配事が湧いて來るんですもの、少しは可愛相だと思つて下さいな。』

甘ねた如き調子でジッと男の顏を見た、

『た可愛相だと思へばこそ私だつて心中立を爲てるぢやありませんか、貴方に氣の毒だとも何とも思はん猿渡なら疾に後妻を貰つて居ります、其邊の處も少しは考へて下さい、私だつて知つた人に見付つた時は猶且貴方と同じことですそれきり大きな顏して人中に出る理にや參りません、して見ると危い橋を渡る心配は同じことですよ、まあ／＼可厭でせうけれど、何も彼も腐れた緣と諦めて辛抱して下さい。』

折から人の來る足音がしたので、兩個の談話は隔と止むだ、がそれは女中が料理物を運んで來たのであつた。

そも此の男女は、改めて記すまでもなく猿渡勘兵衛と尼花博士の未亡人奈加子と云ふことは十分に察し得らるゝのである、猿渡は昨年の秋妻に病死され、奈加子は又一昨年良人に逝去され、共に閨房淋しく感ずる内、何時しかかゝるあるまじき邪道を迎つて、今日までも不義い淫慾に耽つて居るのである。



◎佛國ムルソー市ショニヲンブドウ酒釀造會社　赤、白ブドウ酒各種
◎伊國トリノ市マルチニー會社製品　リキウオール酒　ベルモット酒　其他各種
直輸入元　京城本町　辻屋　本店電二四八　支店電三六六

▲京城醫師案内▼

入院隨意　京城壽町三丁目（元阪井病院跡）　高井醫院　院長　陸軍三等軍醫正　高井貞治　（電話二一六番）

病室新築入院隨意　内科、小兒科、花柳病　眼科、外科、婦人科　京城壽町三丁目　清水材木店跡　中島醫院　院主　醫學得業士　中島貞信

入院隨意　京城旭町三丁目　十全病院　電話七三七番

入院隨時　内外科　小兒科　產科　花柳病　京城旭町一丁目　安東病院　院長　安東貞一郎　電話九一三

入院隨意　各科診療　共立病院　京城本町六丁目

京城西小門通り　京城醫院分院　院長　菅恒

黴毒　廣瘡皮下注射療法　包莖無痛手術　内科　外科　婦人科　小兒科　眼科　京城南大門通一丁目日の出旅館に　戸田病院

明治町一丁目（本町座前）　眼科　内科　外科　松岡醫院　入院隨意

各種血清療法　毎日種痘　新皇城大漢門前　日韓病院

内科　外科　婦人科　入院隨意　京城南山町二丁目　植村病院　（電話三三〇）

貸地　南大門外吉野町約二千坪割貸　高燥にて景宜く水宜く汽車電車に近く出入に宜し希望の方は御來談被下度候
米國製五吋トランシット一臺賣却致候
京城吉野町一丁目　韓國殖産株式會社　電話九一四番

諸傘印入並に提灯類　和洋蠟燭あり　京城明治町一丁目　大島商店

染物並洗張　迅速叮嚀を旨とし染色艶麗にして確實なるは本工場の特有なり　龍山元町四丁目（元今村跡）　桑澤工場

開店御披露　ビール、ブランデー、ウイスキー、ベルモット、ブドー酒、水水、コーヒ、紅茶、

ビヤホール



京城明治町一丁目本町より入左方二軒目　水茶屋

速成新法　琴曲音符教授　○連日○連夜　南山町三丁目九十六番戸　琴曲教場　いごう

洋酒食料品專門　價格低廉品質精良　佛國ピーフラバン會社ブラデー



京城本町一丁目　京城郵便局筋向　龜屋支店　電話八二七番

▲京城辯護士案内▼

辯護士　木尾虎之助　事務所　京城元博覽會表門通り　亭洞六十四統二戸

辯護士　元判事　法律學士　岩田仙宗　明治町二丁目七十五番戸　佛國教會表門前　電話三五四番

辯護士　藤井太郎　本宅　京城東大門外玄暎運別莊　事務所　京城旭町二丁目

辯護士　法學士　明治法學士　前代議士　高橋章之助　事務所　銅峴三十三統五戸（明治町突當）電話二五六　本宅　京城本町五丁目　電話一二四（長距離）

辯護士　莊子斌　京城旭町一丁目　（電話七四五）

辯護士　皆川廣濟　京城南山町一丁目山手　（電話八五七番）

京城旭町三丁目　永井法律事務所　（電話二三八）
辯護士　永井道忠
辯護士　白井勝悟

辯護士　大久保雅彦　京城旭町二丁目　（電話八三九）

京城新報

再び宇佐川中將に與ふ

中將閣下、閣下來城以來既に十餘日其間東奔西馳席暖ならず、偶旅舍に居らるれば訪客踵を接して到り、横臥は無論此の休息だも許さずと聞く、其繁務は察せらるゝも亦一面に於ては閣下の前途に望を嘱さるゝを立證せるなり、在留邦人及韓國上下より閣下の來韓は斯國に至大の關係ありと目さるゝ所以なり、閣下試に往時を追懷せよ、閣下が少佐時代に公使館附武官として錦洞の僑居に駐在せられし時を、當時の在留官民及韓國人等は今日の如く閣下を緊縈せしめざりき、或る一部を除くの外は閣下の存在すら知らざる者多かりき、閣下と雖も當時を追懷すれば無量の感慨に打たるゝならん、閑話休題、余輩は先にも述べたる如く、閣下今次の來城は暴徒討伐の件のみならずして、拓植會社創立に關する用務を帶べりと聞けり、惟ふに之れ事實ならん、聞く處に依れば閣下は既に此件に就て韓國上下の意向及び其他夫々調査せられたりと云ふ、其結果果して其意を得たるものありや、要するに移民を主とする問題なれば、此點に於ては種々の議論あるべしと雖も、對韓經營上此種の事業會社設置の必要なるは論を俟たず、唯利益の打算のみを以てすれば或は異論あるべきも、國家の觀念を基礎とするに於ては其創立の急を深く感ぜずんばあらず、韓國內地の狀態より研究すれば、利益を主眼とするも優に成效し得べし、最初より利益を揚げんとすればこそ難事なれ、積極的遠大の計畫を爲すに於ては決して難事に非らず、耕拓すべきの地多くして之を實行する資本と勞力を缺けるは韓國內地の現狀ならずや、閣下の觀察と調査は如何、閣下の烱眼なる能く之を洞見し得られしならん、殊に閣下は韓內地の實況に審なるを以て、彼の皮想觀察者流の弊に傚はざるを信ずるなり、敢て問ふ閣下の高見如何。

此問題を考究すると共に決せざる可らざるは閣下の總裁問題なり、總裁は種々なる人に擬せられたるも閣下の呼聲最も高し、否總裁は閣下に內定せられしとも聞く、閣下果して就職を諾せりや、閣下が拓殖會社の總裁たることは適任なりや、將に閣下は軍政家として陸軍省の重鎭たるが適任たるか人は言ふ陸軍大臣の椅子は閣下に向て馳せつゝありと、然り閣下は陸軍大臣として海軍の齋藤實氏に對して遜色なし、閣下は屢好個の軍政家なり、斯る前途の重望を拾てゝ拓殖會社の總裁たるは決して賢き行爲に非ざるなり、然るに事情は端なく陸軍省を離れて總裁たらしむるの止むなき事もあらむ、何れにするも閣下の武步は整々堂々たれ、余輩は閣下が今次の來城は拓殖會社との關係あるを信じ、閣下の重望を以て俗論を排して速に創立せらるゝことを望むなり、創立の時機は却て今にあり、之れ深く囑望せんと欲する所なり

東京電報

▲皇上の御贈品

今日韓國皇太子參內し天皇陛下に謁見此際陛下より左の御贈品ありたり
一置時計一個、晴雨器一個(十一日午後發)

雜報

●皇帝の展謁

皇帝陛下には本日永禧殿及文廟を展謁せらるゝ旨仰出さる其出御時間道筋は左の如し
午前九時敦化門出御能朝橋太廟前路、梨峴、四街二橋於義洞新作路に從ひ永禧殿前路に沿ひ展謁あらせられ永禧殿前路、廣禮橋、觀旂橋前路に從ひ文廟展謁あらせられ十二時不閑堂北門に從ひて清和門より還御相成るべし

●動物園臨御

皇帝 皇后には一昨十一日午後二時三十分秘苑に出御例の如く御運動あらせられ後動物園に臨御新來の動物等を御覽あり六時四十分還御あらせらる

●帝室有財產移屬

帝室有財產の全部は擧げて國有に編入せらるゝ事となりたる由なるが其の財產の重なるものは驛屯土、一司七宮附屬地、陵園墓所屬地、漁基、牧場、未墾地、山林原野等にして驛屯土稅は昨年より度支部に依托して此れを徵收し一司七宮附屬地、陵園墓所屬地、漁基、牧場等は帝室有財產整理局に於て處理し居りしも機關未だ整備せずして處理意の如くならず且閣臣中其の處理に干與して私腹を滿たす者あり殊に未墾地、山林原野に至りては國有との區分明かならず帝室有及び國有財產調査局あるも容易に其の處分を定むるを得ずして徒らに難問題を惹起するに過ぎざりしを以て今回日本に於ける明治初年の例に倣ひ一旦其の全部を國有に編入して整理を遂げ必要に應じて帝室御料地となすの方針を取るなるべし而して此れを昨年以來の方針に見る時は初めは大部を國有に編入する意見なりし如く後帝室有主義に變じ今回再び國有主義に立戻りたるものにして表面は整理上の便宜に出でたる措置と云ふを得べきも其の裏面を觀察する時は以上方針の再變化は或る勢力の消長に伴ひ居り大臣の交迭と共に李總理一派の權力削減と見る事を得べし

●國有編入と所屬

別項記載の國有に編入せらるゝ事となりたる帝室有財產は其の性質に從ひ直ちに此れを度支部或は農商工部の所屬となすか又は其の整理を遂ぐる迄特別の機關を設けて此れを處理せしむるか未定にして近々閣議を以て決せらるべしと云ふ只帝室債務約二百萬圓の處分に關しては別に臨時の調査機關を設けらるゝならん

●國有編入と宮內官吏

宮內府事務の重要にして其の大部分を占めたるものは帝室有財產管理に關する事項にして今回此れを國有に編入せらるゝ事となりたる結果事務の六七分は減少するに至るべく帝室有財產整理局の如きは當然其の存在の必要なき事となりたるを以て宮中儀式祭祀の事を司る者の外は減員せらるゝに至るべし但し帝室有財產の現狀は財產整理局を設けられて初めて明かなるを得たるものにして同局關係の官吏は財產の歸屬する官廳に轉任するなるべし

●國有編入と宮中派

今回の帝室有財產國有編入は韓人宮中派の快しとせざるは勿論にして彼等は當初宮內府に日本人官吏を任命し帝室有財產を整理すると稱して諸種の調査を遂げたるは國有編入の準備のためなりしなりとし李宮相の如きは最も煩悶し居れりと云ふ

●憲兵補助員募集

韓政府にては地方に於ける暴徒鎭壓の爲め憲兵補助員を置き暴徒の鎭壓に從事せしむると共に地方の安寧秩序を維持せしむる爲め左の規則を制定し上奏中なりしが一昨日裁可を得たり

第一條 暴徒を鎭壓し安寧秩序を維持する爲め憲兵補助員を募集し韓國駐箚日本憲兵隊に依托し該隊長の指揮に從ひ服務する事
第二條 憲兵補助員は軍屬とす軍部大臣は韓國駐箚日本憲兵隊の要求する事項に就き憲兵補助員に關する事務を處理す
第三條 憲兵補助員の缺員補充は韓國駐箚日本憲兵隊長之を行ふ但し軍部大臣は必要に應じ地方官に命令し此に援助せしむ
第四條 憲兵補助員に關し諸般の規則は韓國駐箚日本憲兵隊長の定むる所に依る
附則
第五條 本令は頒布の日より施行す
第六條 憲兵補助員は右脇部に赤色李花徽章を附着す

●觀察使任免發表

觀察使更迭のことは既に記せしが十一日左の如く發表せられたり

依願免本官
京畿道觀察使 李奎桓
咸鏡南道觀察使 韓南奎
黃海道觀察使 朴蘇陽
全羅南道觀察使 金奎昌
忠淸南道觀察使 梁在翼
慶尙北道觀察使 李忠求
忠淸北道觀察使 李鎬成

任京畿道觀察使勅任官三等 慶尙南道觀察使 金思默
任忠淸南道觀察使叙勅任官三等 前副贊議 崔廷德
任慶尙北道觀察使叙勅任官三等 平安南道觀察使 朴重陽
任平安南道觀察使叙勅任官三等 前副贊議 李軫鎬
任忠淸北道觀察使叙勅任官三等 內藏院副卿 權鳳洙
任江原觀察使叙勅任官三等 前副贊議 李圭完
任慶尙南道觀察使叙勅任官三等 江原道觀察使 黃鐵
任全羅南道觀察使叙勅任官三等 前副贊議 申應熙
任咸鏡南道觀察使叙勅任官三等 前副贊議 李範來
任黃海道觀察使叙勅任官三等 前監査官 趙羲聞

●新觀察使の前歷

今回觀察使候補者中權鳳洙は曾て日本留學生として約二個年早稻田に在學し歸國後三十八年の初め警務廳主事となり同年沈相薰に從ひて日本に渡り歸朝するや直ちに警務官(警視)となりて中署長に任ぜられ次で警務廳庶務課長となり四十年春內部參書官に進み同年夏警務局長となりしが昨年末官制改革の際罷められ後出でゝ記川府尹となり日ならずして辭職し又經理院副卿に擧げられ約二ケ月にして依願免官せられたる者なり李範來、李珍鎬、趙義聞の三名は共に閔妃事件のため亡命したる元陸軍參領にして昨年歸國したるのみにて官歷乏し申應熙は趙義淵の子分にして三十九年頃趙を追ふて日本に渡り昨年歸國したる者にして日本人を妻とせり李奎完は朴泳孝の子分にして曾て警務廳總務局長たりし事あり二十九年朴を追ひて日本に渡り昨年朴と共に歸國したる後は李鳳成の食客たりき崔廷德は二十九年頃より日本亡命者間に寄食し昨年初め歸國後一進會長李容九の通譯たりし者なりと云ふ

●郡守赴任の催告(職務曠廢)

郡守は從來任命せられてより任地に赴く事を遷延し或は赴任後口實を設けて上京し職務を曠廢するの惡弊あり現に最に新任せられたる郡守六名未だ赴任せず又上京して徒らに滯在せる者十三名あるを以て內部大臣は何れも一週間以內に赴任又は歸任すべき事を催告し若し期間內に出發せざるときは相當の處分をなすべき旨を通告したりと云ふ

●賊徒と農作(承前)

△雲山附近は時々强賊の被害なきにあらざるも賊徒の出沒なきを以て耕作上には別に影響する處なく人民は安んじて耕作に努めつゝあり△新義州及龍岩浦附近は平穩にして賊徒の出沒徘徊等なく從て農民耕作上に何等の影響を及す事なし一般農民は安堵耕耘に勵み四月下旬以來諸種の蒔付に從事しつゝあり特に龍岩浦揚西面新城里に於ては從來の畑地或は原野を開墾して田となし米穀の增收に努めつゝあり△定州附近は賊徒の出沒なく從て農民播種耕作上に付影響を爲すなきが如く農民は四月末以來農事に忙しく既に各種の植付を終れり△平壤及鎭南浦附近鐵道以東三四里及以西一帶の地に於ては賊徒の出沒せし事なく一般不穩なるを以て農民は孰れも安堵耕耘に從事し何等の影響あるを見ず△遂安附近南北部は賊徒の巢窟なるを以て農民は賊徒の出現每に迫害せられ或は家を燒かれ財物を掠奪せられ一日も安んずる時なく五月以來播種期にて耕作に忙しきも一進會員の如きは多くは昨年各地に避難し未だ歸家せず殆んど財產は隱蔽し身は避難し田畑播種は手遲れとなり爲めに直接間接に被むる處の被害は甚大にして昨年以來其振はざるもの多くは之に原因し郡內の市場は目下非常に寂寞を極め居れり而して每年十月より翌二月迄に全納すべき規定なるも賊徒の爲めに徵稅に困難し今日迄得たる處僅に一千二百餘圓の納額に過ぎずと云ふ△砂利院附近村落は僅少の賊徒徘徊せざるにあらざるも夜間に多く且つ近來討伐搜索の嚴なる爲め一時脅迫の爲め加入したるもの今は歸宅し潛に農業に從事するの有樣なり尙本年初賊徒の熾なるや豪農資產家一進會員の如きは彼等の來襲金品の强奪屢々なるを以て砂利院海州等へ避難し未だ歸家せざるものあれども之等は親戚或は家族小作人等にして擔任せるを以て播種耕耘には甚しき影響なきものゝ如し△載寧附近は五月初旬に於て畑地九分を耕作播種し引續き田地の植付に從事し疾く終了せり又村落中本年一二月頃賊徒猖なりし際は一時避難し又は農業を休止せしこともありしも近來平穩に歸し播種耕作上には格別の影響なしと△安岳及長連附近は四月末より農民は老若を問はず田甫に耕作し平常は黃海道一二を以て稱せられし殷盛なる安岳の市場も農繁の爲め人出減少し農耕に對する賊徒の影響なきが如く長連も又之に同じ

●賊徒討伐情況

△安東守備區內に於ける河野步兵少尉の率ゆる討伐隊は六月四日奉化東方六里に於て賊魁李康年等の率ゆる約七百の賊と戰ひ之を擊退す賊死者四十なり△原州東南方神林分遣隊は五月二十五日同地附近に於て賊を攻擊し其二を殪し若干を傷く△忠州西北方長湖院分遣隊より出したる兵二名は憲兵二名と共に六月三日長湖院南方三里の地に於て賊魁以下四名を捕ふ△江原道平昌守備隊は六月九日大和の北方二里に於て潛伏中の賊六名を發見し二を殪し火繩銃二彈藥若干を押收す△前の江陵守備隊より三陟守備隊の討伐に策應する爲め出張したる討伐隊の下士以下六名は六月一日三陟西南九里に於て約五十の賊に遭遇し廿一を殪し火繩銃十三其他雜品若干を鹵獲す△慶尙北道慶州より出したる中尉以下十名韓人巡査二名は六月三日慶州北方一里半の地に於て賊四名を捕ふ△京畿道利川守備隊の下士以下五名は六月九日利川西南三里白巖場に於て約廿の賊を討ち二を殪す△京城警視廳の巡査は六月五日京城內に潛伏せる賊二名を捕ふ△六月六日の討伐に於て有名なる賊魁申石岩は瀕死の重傷を負ひたりと

●會議所決算報告會

京城日本人商業會議所に於ては來る十五日午後六時より四十年度決算報告及び議員定數增加の爲め定款變更の件に就き臨時會を開く筈なり

●仁川會議所議員候補者

來る廿日午前九時より仁川商業會議所議員の半數改選並補欠選擧を執行する筈なるが目下の狀態は別に候補者の運動等もなく極めて靜穩なるが一般に豫想せられ居る候補者左の如し

再選の見込あるもの
桑野良太郞、立石幹、奥田貞次郞、秋田商會、那金三郞、
新選さるべきもの
篠木伊勢松、靑木一葉、藤井濟太郞、高玉岩吉、市川武吉、竹田津三平、伊藤武彥、

●地稅問題と民會の意向

仁川居留民中地主數十名が連署して第四十年度及四十一年度の土地稅引下其他に干し陳情書を提出したる事は既報の如くなるが民團に於ては別項民會に於て之れに對し第四十年土地稅は納入告知書に缺陷あるを以て納入の義務なしとの陳情に對しては全部之れを却下して飽迄納入せしむべく又四十一年度同稅率を三割五分丈引下ぐる事とし若し此れに對して地主會が不服を申立つるに於ては少しも假籍なく最後の手段に出づる事に決したりといふ

●仁川居留民會

仁川臨時民會は一昨夜午後九時より既報の議案について開會したるが全部原案の通り可決し終りて地主會が提出せる陳情書に干し秘密協議會を開けり

●仁川土地稅決議事項交涉

土地稅問題に關し別項の如く決定したる爲め昨日午后一時民團側委員と地主側委員とが民役所樓上に會見し別項記載の決議事項につき交涉をなす筈

●課金滯納と選擧權

京城日本人商業會議所會員中課金の滯納者頗る多く此等滯納者に就ては議員選擧に對し被選擧權を停止せらるゝことは定款に規定せらるゝ所なり左れば同會議所議員の半數改選期も最早切迫したる今日滯納會員は選擧權を停止せられざる樣此際完納せられたきものなり

●朝鮮日々新聞の移轉

朝鮮日日新聞は今回業務を擴張し本社を京城長谷川町に移轉する事となり本月十五日より移轉に着手し十日間休刊して廿五日より京城にて發行する豫定にて紙面は大改良を加へ從來の如く六面の新聞を出すと云ふ

●長谷川大將の視察

長谷川軍司令官は來る十六日頃太田、大邱、馬山、釜山の各地方視察の爲め出發せらる

●巨智部博士の巡視 農商工部技監巨智部博士は今回順安地方に於ける砂金採取實況視察の爲め出張されたるが其途次安邊高防山松羅山等の採炭業を視察する筈なりと

●三穗副理事官轉任 三穗五郞氏は領事官に轉し安東縣領事館在勤を命ぜらるべし

●高濱文太郞氏 營林廠一等主計の同氏は一昨日來京浦尾旅館に投宿せり

●武尾顧藏氏 法學士にして大學院學生たる同氏は一昨日來京田中旅館に投宿

●東照丸の代船 仁川協同組拔船東照丸は去る二日午前三時小靑島附近に於て沈沒したるが其代用船は來る二十三日唐津出發韓國航路に充つべき旨佐賀縣廳より同組に通知ありたり

●秋山氏母堂の死去 本社員秋山忠三郞氏の母堂は昨日東京自宅に於て死去せられたり

●近事片々

▲綠陰● 深き所惡緣あり自然主義の流行は綠陰の下に頗だ濡幕を演ずる者多しとかや
▲木根● 枕に木の葉の布團に山時鳥の聲を聞きながらの濡幕一齣將に之れ自然派演劇
▲綠蔭● 深き樹間にハンモツクを釣りホーマーの詩集でも讀みつゝ午睡を貪る亦快也
▲統監● 近々韓國統治の根本的大方針を各大臣等に訓示演說をなすべしと倚も大氣燄
▲歸朝● 近づき御土產的仕事として何かあるべしとは坊間の取沙汰先づ眉唾が肝要也
▲是非● とも歸らにやならぬ必要あらば格別左もなくば少し落ち付て眞面目に遣るべし
▲一進● 會は表面强硬を裝ひ裏面は大喜びで每夜祝宴を開て役割を極て居るとは滑稽
▲觀察● 使郡守の候補山程ありて宋氏の指圖を俟てる餓虎の如し倚も困つた餓利亡者
▲亡命● 組と宋氏との間柄近來甚だ好く亡命者中にも二三觀察使となるものありと云
▲亡命● 組宋氏の二角同盟と李完用元老の二角同盟との爭ひとなり來る玆一寸面黑し
▲前內● 閣派の或る分子と完用との接近は近來の興味を以て見らるゝ暗流の奔騰事實也
▲龍虎● 戰へば一方斃ると云ふ此二派の戰何れが早く斃るべきか現閣運命知るべき也
▲暴徒● の大將許某は京城に居りて各權門に出入しつゝありと聞く許某も亦豪ひかな
▲許某● 人となり深沈寡默膽大也と何れにしても城內に横行するとは不埒千萬の奴也
▲巨魁● を眼前に横行させつゝ冷眼に看過するは矢張膽大也膽小にして生捕ては如何
▲噂の● 如く許某なる者現閣員の家に出入するとすれば閣員の心事疑はる倚も膽大也
▲排日● 的行動を縱る韓民を根能く懷柔せんとする統監の膽も亦大也是れ膽大の競爭
▲ベツ● セルの新聞記事の裁判は十五日より開始するの事今後のベ氏は如何有べき
▲最早● 玆等が年貢の納時なるべし宜加減に諦め付て後世の念佛こそ肝要也アーメン
▲松田● 正久曰く僕だつて勉强すれば次官の仕事位は出來ると之が大臣たるの言葉乎
▲呆れ● て物が言へぬ苟も國務大臣として言へる言葉に非ず正久益老耄て役に立たず
▲留小● 太落選の爲に精神異狀を呈したりと新聞に書れ電話數萬言以て健在を立證す
▲甲府● 附近に低氣壓起り卵子大の雹降下し死者數名あり東京又降雹被害少からずと

諷詩林

獨見君
威望從來最出群。操縱遂占兩風雲。邦家柱石李才子。七大臣中獨見君。

右夫人
華麗廂髮扮裝新。敢向韓官又賣春。嘆息日東婦德廢。厚顏却列右夫人。

雜報

●緣事關係の一現象

臺灣戸口調査統計に左の如き表あり是は同島に在る內地人及島人の現に結婚し居る人につき初婚のものと一旦鰥寡となりて再婚せるものと及び一旦離婚されて更に他に結婚せるものとを百分比例にて示せる者なり

	內地人夫	內地人妻	本島人夫	本島人妻
初婚	七六、五	九一、二	七一、七	六四、四
鰥寡	九、八	二、四	一六、七	三三、一
離婚	一三、七	六、四	九、六	三、五

表は少なれども意味は大なり、先づ內地人に就きて見るに男子よりは女子の方初婚の人多く、一旦夫を亡ひ妻を失ひたる人にては再び結婚するもの女に甚だ少く男に多く一旦離婚したる後更に結婚するもの女に少く男は其倍以上なるを見るべし、次に本島人に就きて見るに此關係は全く內地人に反し初婚の人は女に少く男に多く、一旦鰥寡となり離緣となりても再び結婚するものは男より女の方遙かに多し、道德觀念の如何をも見るべく社會の風習の如何をも察すべし

●日比野雷風氏

神刀流開祖にして天下無敵を標榜する雷風日比野氏は朝鮮タイムスの主催に係る同社一週年紀念會へ出席の爲め本日より仁川歌舞伎座にて氏獨特の勇壯凛然なる劍舞を一般の觀覽に供する由なるが同神刀館基金に充つる爲め引續き二日間開催するとの事なれば定めて觀覽者多かるべし

●面白い統計

京城程割合に巡査の多い所は無い其處にも此處にも行當りばつたり交番があつて日本巡査朝鮮夫れは／＼橋の上道端門の前所嫌はず立つて居るが是等の巡査が毎日幾何の仕事をして居るかマサカ日誌を記けて通行人は右を通れ／＼と叱るばかりでもあるまいと思ふたから試みに所謂警察事故として取扱つた數を聞合せて見ると東署管內の巡査が一日平均取扱つた分が二件六三西署が十件六三中署が三件二一南署が九件八四銅峴分署が一件九一北署が一件九七といふ事になる相だ此れは去る四月中の統計であるが此れに依つて見ると西署が一番多く次ぎが南署であるが假りに西署に巡査が五十人居るとなると夫れ丈けの人數で一日五百件以上の說諭やら拘引やら檢分やらを行つて居るのだ何と巡査さんも五月蠅者ではないか

●產婆狐の出產を取扱ふ

兵庫縣印南郡米田村相谷ウメ（四五）は同地方に名高き產婆なるが本月一日夜十二時頃ツイぞ見馴れぬ二人の男表を叩きて入り來り私は○市村の鈴木から來ましたが只今若嫁さんに產氣が付きましたので御迎へに來ました何卒早く御越し下されと車は門先に待たせて在ますと云ふに早速ウメはその車に打ち乘りて鈴木方へ赴き產を扱ひ歸りしは二日の朝なり而るに同日一人の男入り來り昨夜の勞を謝して一封の謝儀を差出したるを何心なく受取りさて其使の歸りし後フト心付き昨夜の謝禮を早や今日持來るとは此地方の例ならずと念の爲め鈴木方を訪ねたるに去る事は毛頭なしとの事なるより不審晴れやらず早速歸宅の上例の紙包みを開き見たるに中には一圓紙幣三枚あり何とも合點ゆかず不思議の事よと八方搜索せしが同家の軒下に見馴れぬ箕の捨てあり且つ其箕を引摺りし形跡ある儘其跡を逐うて行き見れば同村南手の川堤防の竹籔の中へ續き居たり察するに產婆を賴みたるは正しく狐に違ひなく人力車と思ひしは箕に產婆さんを乘せて之を引摺りたるならんとて同地にての評判とり／＼なりしと眉唾々々

●清韓人の爭鬪

十日午後十二時頃中部廣洞玄召史は自宅に於て附近に居住する清國人蘇不善（四十）なるものと鴉煙吸飲器貸借の件より一場の爭鬪を惹起し終に玄召史は同居人と共に蘇不善を毆打し面部に創傷を負はしめたる事件に付巡査鄭太享なるもの十一日午前三時玄召史及び被害者蘇不善を中部警察署に同行し取調たるに玄が鴉煙吸飲器を蘇に貸與せよと云ひ來りたるも蘇は之に應ぜざりしが玄は同居せる他の清國人より右の器具を借り受け持出し午後十二時に至るも返却せざるに付其返戾を促したるに玄は突然蘇の胸部を擱みたるに付蘇は器具の受取の爲め來りて他意なきを辯疏したるも玄は器具は汝より直接借用せしものにあらず隨て汝に返すべき理なしとて蘇を中門內に引入れ他と共に其場に在合せたる鐵器を以て頭部を毆打したるものなりと清人の負傷は右顳顬部にして三日內に全治すべしと云ふ

漢城病院を辭して開業
齒科
京城南山町第一銀行橫町
東京齒科大學專攻
統監府囑託 飯塚徹
仁川分院（仁川病院前電二四）五、十の日飯塚徹出張
主任前東京共立齒科醫學校講師 藤井庄次郎

●下女の戀

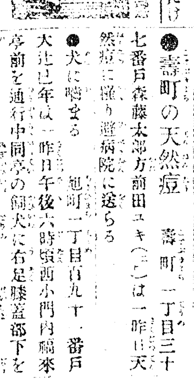
△姦夫は金がある、縫しい、男振りが佳いワ

無邪氣な戀と云はうか何と云はふか西部苑洞五十八統四戶鄭某方の下女柳姓女（二十）と云ふは崔正順と云ふ歷とした夫のある身にも係はらず其の附近に住みて某兩班方の水汲みを業とする劉泰仲（四十）と久しい以前から相戀し相愛して主家の要事の隙をにはソツと逢いて互に顏を見るを樂しみになし居りたるが儘にならぬは二人が身何れも奉公人の事にしあれば思ふ程には媾引も出來ねば浮世はホンに辛いもの愛いものとばかり思ひ居りたるに此の十數日柳姓女は主家の吩咐にて東大門まで手紙を持ちて行くことになりたれば是れこそ天の與へと其の旨戀男劉泰仲に知らせて遣れば此方も雀躍して喜び主家には都合のよき樣云ひ置きて豫て柳姓女と牒し合せたる東大門の去る家に落ち合ひ柳さんか劉さんかと互に堅く抱き占めて不義の快樂に耽つて居る處を柳姓女の亭主崔正順が嗅ぎつけ巳れ憎くき不貞腐れと突如二人の寢て居る室に飛び込まんとしたが待てよ此處が勘忍の爲し處若し事を荒げては却て自分の顏にも掛るとグッと片唾を呑み込んで成らぬ勘忍をして居ると姦夫の劉泰仲は却て崔に何で貴樣は巳れ等の寢て居る室を開けたのだと喰つて掛りたれば崔も巳を得ず西部警察署に訴へ出でたるにぞ一同警察に召喚されて事實を取調ぶるに柳姓女の申條が面白いでは無いか妾の亭主の崔さんは平常貧乏で一向美くしい着物も着せず夫れに引替へ劉さんは煙草や菓子を絕へず買つて吳れ剩けに金も持つて居るし男振りも崔さんより何ぼ佳いか知れ無いから劉さんに身を任せる積りでしたとは憫れて言が云へぬ仕義だが韓國の事だもの姦婦姦夫は各咎なしに處せられて事濟み

◉萬洗張、ゆのし、染物 悉皆
●並に蒲團類調製
京城壽町二丁目 キトウ洗張店

●人の情の見ぬ檢校

去る頃より當地の去る處に何の檢校とて麗しく看板を掲げ琴尺八三味線の指南に浮世を吹いて彈いて面白可笑しく渡らんとする人在りけり此の檢校元と長崎にありける頃は先づは土地にて有名の師匠として界隈の評判も宜かりしが去年の夏頃當韓國元山に在る去る知邊より是非にとの所望ある爲めに數少なからぬ弟子門人と云ふを振り棄て元山に赴き表格子に相も變らぬ看板を掲げ先づは招かれたるだけの甲斐ありて門弟も多數を得る可なりの暮らしをなし幾分の貯蓄も出來たる筈なりしに以て世話した人も喜び居りしに此の師匠其の兩眼の睹らきだけ夫れだけ



人の情けも見わぬかして元山に住みて未だ半歲經つか經たぬに世話した人には內證にて二四百の借財を拵へたれば門弟等は何れも不思議に思ひ居りしも根が師匠さんあれば要こそも置けず最初世話した人にも相談して賴母子講を造りて負債を濟まさせ後ちの家計も立派と迄は行かずとも可なりには暮らして行ける樣になり居りたるが其後數月して俄かに姿を隱して京城に來りたるにぞ一同は扨ても不德の師匠さんもあつた者かなど元山表より折角の投書を斯くの如し

●妻を奪ひたる上泥棒呼はり

宮內府大臣李允用の從僕に金文秀と云ふものあり主人が主人だけ家來も善い事は見習はぬものと見へ文秀は都染洞居住の徐相益なる者が二十七年間も連れ添ふた妻の某が殘る色香の捨て難きに見惚れ折あつたらと窺ひ居りし中何時しか隙のありしと見へヤイノ／＼と遂に說き落して嬉しい中となりしも夫のあつては晴れて樂むことも儘ならねば此處何とか工面はあるまいかそうすれば人目憚からず樂むことが出來てお前さんと心配なく夫婦になられるではないかと云へば文秀は之を聞きて大に喜び或る夜遂に徐の妻を奪ひ取り家に匿して人知れず樂みしも徐があつては安心も出來ないからと二人相談して徐を陷いれて後日の禍を招かぬ工夫こそ肝腎なれと徐は盜賊なりと言ひ觸らしたれば之を聞いたる徐は大に怒り俺の女房を泥棒したる上に盜賊呼はりするとは不都合千萬己れ豆泥棒如何するか見て居れと此程漢城裁判所に訴へ出たりと

●俗謠●　吉崎御坊

やすい浴衣の御納戶形は　一度着たぎり厭になる
電車あるので便利だけれど　矢ッ張りわしが先にたつ
叩く水鷄を犬かといふて　戶を引き込む柴折門

●民稅吏員と詐稱す

近來京城民間吏員と詐稱して稅金を徵稅する惡漢あるにより民間に於てはかゝる禍を除くる爲め徵稅出張の際は吏員證を所持せしめ尙受領證には捺印せしむることゝせしに付居留民は右心得置かれたし

●汲水夫の會●

京城內外の汲水夫千餘名は過日西大門外獨立館に集會し水道給水開始に就て議する所ありしが更に來る二十五日西大門外の寺院に集會を催し給水開始に於ける善後策に就き凝議する由なり

●壽町の天然痘

壽町一丁目三十七番戶森藤太郎方前田ユキ（二十）は一昨日天然痘に罹り避病院に送らる

●犬に嚙まる

旭町一丁目百九十一番戶大辻巳年は一昨日午後六時頃西小門內稱來亭前を通行中同亭の飼犬に右足膝蓋部下を嚙まれたるが右飼犬は取敢ず西署にて獸醫に診斷せしめたるも狂犬にはあらざりし

●本願寺說教●

本夕は土曜日に付き午後八時半より說教あり

●ビヤホールと生麥酒

客投じの丁寧なると價格の廉なるとにて評判好き明治町一丁目のビヤホール水茶屋は今回更に生麥酒を取寄せ顧客の需めに應ずる由時節柄一層人氣を博するならん

●本町座の月魄

本町座本日の藝題は「月魄」全九まくにして重なる役割は如左

入松喬（いろは順太郎）川上將軍（稻村文男）野津剛助（石巻靜馬）鍋島少佐（藥山光夫）家庭教師藤の（濱田出雄）從女れいそ（尾崎茂）喬母たいし（小泉賀祐）松平子爵（秋山三郎）伯爵梅小路勝人（青山太郎）川上侯文子（阪本雪夫）久松田鶴子（杉山志夫）大學生正木貞雄（蜂松信夫）

（平）（民）（文）（庫）

▲降るかと見れば照り照るかと見れば降る近來の天候甚だ不順なり此の際必ず惡疫の發生する者あるべし各自相戒めて一層衛生に注意せざる可らず（衛生家）▲本町六丁目何とか商會の印刷職工は園子さんを連れて今神戶に行つて居る相だが愈本妻にする氣かしら（ノロマ生）▲不景氣／＼と云ふけれども市中は決して不景氣では無い試みに夕方泥峴を步るいて見給へ何れの商店も可なりの景氣である（角帶小僧）▲僕が南山町の知人の家を訪れた時唯一度聞いた丈けの友人の宅が如何しても判らぬ折よく通行の巡査に聞いたらば鄭寧に敎へて吳れた何と云ふ人か知らぬが巡査には珍らしい方だと思つた（仁川三郞）▲軒頭の街燈を夜間に打毀はす者がある惡戯にも程がある（被害者）▲あらゆる惡德の行はるゝ京城で比較的壁や塀に落書きの少ないのは喜ばしい（散步生）▲本町六丁目の烟草屋の御神さんは何時も店先で何か食ふて居るほんに見ども無いよ亭主さん少しは取り締らないと近邊の人が笑つて居ますよ（通行生）▲新町皆春樓の櫻木君よ妹の錦を落籍した人は君も共に落籍する約束だつたに其後如何になりました（痩女郞）▲本町六丁目の共同組車屋の隣家の床屋にはチーーさか賭博とか毎日盛んにやらかして居る（目擊生）▲一昨夜皆春樓の小將を聘げた仁川の客は開賈と自稱して居るマサカ金色夜叉の芝居でも演る氣ではあるまい（僞色男）▲山遊樓の雪子さん一昨夜は西山さんとお樂しみ（燒持）

●天氣豫報（自十二日午後六時至十三日午後六時）

南の風曇後晴

●十二日午前六時各地氣象概況●　南又は東の風吹き北部は雨天南部は曇天なり

○土耳古金口煙草GD インペリアル 各種
茶褐色スボルト
京城代理店 歐米雜貨商
京城本町六丁目 岡野商店

廣告

壹疋（三枚分）貳圓廿錢見本往復葉書で申込あれ
あづま地
大阪天神橋北詰山口銀行西（貯振一七七二番） 浦山商店
◉御注文の節は送荷の方法御指定願上候

サ 佐藤旅館
京城旭町一丁目八十番戶 理事廳東角上名古屋城の上
電話八二八番



會席御料理 仕出し
京城本町八丁目
富士見樓

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物罐詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋 大上商店（電話二五一番）

◉◉◉◉
蒲燒
鰻昆布巻
鰻八幡巻
會席御料理
◉◉◉
鰻丼
柳川鍋
すし
京城壽町一丁目
武藏家

本店 仁川理事廳通（電話三三番）
原金旅館
支店 京城南山町（電話一〇七番）

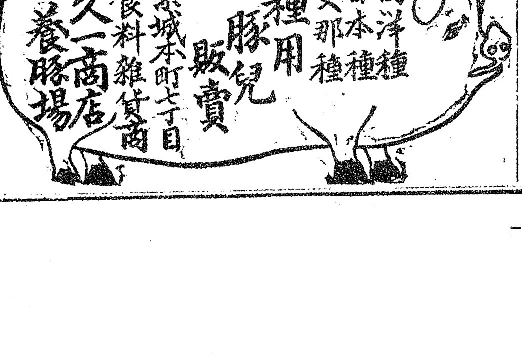
●內務省免許衛生試驗濟●
●陸海軍赤十字社御用品●
●鑛泉は多少に不拘御用命に應じ可申候
滋養 補血 鐵冷鑛泉 驗効如神
入浴時間 自午前七時至午後十二時
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷溫泉

月刊 朝鮮
每月一回一日發行 定價廿錢 郵稅一錢
京城本町二丁目 日韓書房

西洋大奇術
自轉車曲乘
支那人曲藝
每日午後六時開場
京城永樂町三丁目赤門通り
明治齊吉菊一座

御料理 壹圓
會席 七十五錢
同 五十錢
同
京城本町九丁目
小松亭

▲既設電話讓たし（姓名在社）▼



動物園大會
開會 每日午前八時ヨリ
場所 西小門內新報社隣

本園は世界の珍らしき鳥獸を蒐集し江湖諸彥の觀覽に供するものにて從來の興行見世物類とは其撰を異にし動物研究の材料として實物敎育の一端に資せん目的なれば紳士淑女の方々が令息令孃を同伴せられて一日の消閑を試みらるゝには最も恰好なる娛樂塲なれば陸續御來園の程奉希上候

◉本會の名譽
一、長崎縣知事荒川義太郎氏より感謝狀を贈らる
一、各府縣官公私立學校長より有力なる敎育參考品として數千通の謝狀及び證明書を有す
一、鹿兒島步兵第四十五聯隊より感謝狀を贈らる
一、韓國各駐劄軍隊より感謝狀を贈らる
一、日韓各學校より感謝狀を贈らる

四十一年六月
六車萬國動物園

西の宮た樂の述懷(十二)

◎三人小僧に飛込まる

三人の小僧さんをば眼を血のやうにして探して歩きましたが探すとなるとサテ却々見當りません有るには有つても餘り外へ出掛けない稼業の店のでテンデ切つ掛けを渡すことが出來ないので『什麽も困つた子』と何んでも半月許りは其の儘に過ごしましたスルと或る呉服屋さんに格好なのが三人程居るのが目に留まりましたので『彼家のならご前上等と來て居るぢやないか』『さうサうか……如何な寸法にして話を掛けるチ』『其處だテ先方が呉服屋といふんだから何か呉服物をソウいつてやつて那の小僧さんに持つて來て貰ふ事にしたら宜いだらう』『ダガ夫れにしても一人ツきりより來やアしないよ』『一人來れば夫れから話は如何ともつからぢやないか兎も角ソンナ寸法にして運びをつけて小僧さんを呼び寄せる事に仕やう』といふので使を其呉服屋さんへ遣りました、サテ小僧さんはソンナ事とは夢にも知りませんから急いで參りまして『什麽も毎度御注文に預りまして有り難う存じます』と叮嚀に申しまして背負つて來た風呂敷の包を解き掛ける此方は目的が他にありますから並べ立てた品物は宜い加減に目を通し『小僧さんお前さんは今年幾才にお成りだい もうそろ〳〵娘さん達が目につくだらう』なざゝ水を向けて見ると只『へゝ』といつて笑つてる許りで根ッからお噺にならないのです然し種々と噺し掛けた末『あんたは面白い小僧さんだ何時でも宜いからお前さんの都合の宜い時御馳走をして上げるからおいでなさいよソレには一人ぢや心細からうからアノソラ店に居る二人の小僧さんも一所に誘つて連れておいでなさいナ』と要りもしない裏地か何かを買つて其の日は小僧さんを返しますると其の翌日前の小僧さんを先立にして『如何も昨日は有り難う存じましたお申し付けでしたから朋輩と三人連れで參りました』と三人ドヤ〳〵と私の家へ押し掛けて來たのでムいます併しア、いつて返したもの〻眞逆に昨日の今日とは思つちやア居りませんので私も少々面喰ひましたが來られて見ると此の儘にしても置けず『ソウですか夫れはマア宜く來て下すツたの子……ダガ御前さん方三人とも揃つて出て來ちや嘸ぞお店の方でお困りだらうに』と申しますと『ナニ皆お使に往くツて番頭さんの前を胡魔化して來ましたから大丈夫です』『ソウですかぢやア兎も角お茶屋さんへ往きませう』と其の三人の小僧さんを連れて日頃心安くして居る料理屋へ上りまして早速相棒の二人の藝妓のところへ使をやりますと直ぐ出掛けて參りましたが何れも私同樣昨日言つた許りでちきもう今日やつて來ましたのには驚いたやうでした(つゞく)

夏物大賣出し

六月七日より向ふ一週間

今般最新流行夏衣種々取揃大賣出し仕候間何卒賑々敷御來光の榮を賜はらんことを

追て多年の御厚情に酬んため正札より一割引の事其他見切太物澤山大安値にて差上申候

京城本町三丁目

㊞和 大曲呉服店

(電話百二十五番)

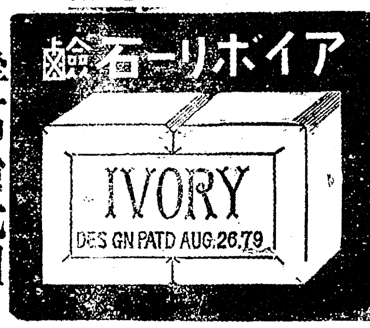
齒科全般の治療

米國最新式義齒

米國齒科醫學博士 女醫 中村安子

京城本町六丁目(歟そば横町)

品質純良



浮石鹸元祖

●石鹸の撰擇は香色にあらず品質純良なるにあり

●アイボリー石鹸は香料着色を省畧せし純良の家庭向實用石鹸なり

●賣捌所は韓國各藥店小間物店にあり

京城永樂町二丁目

輸入元 東京 藤原京城支店

電話九五九番

夏衣大賣出し

六月八日ヨリ十五日マデ

正價より一割引

呉服和洋反物 太物蚊帳蒲團

㊊ 秋山商店

京城郵便局前

(電話九四六番)

諸衙官用御品調達

各學校用品調達

營業科目

紙類	印刷附屬品	印刷インキ	防腐デシン	穀物食鹽	織物染料

并に委託販賣

東京合資會社アライアンス商會代理店
横濱百七十六番ビユームエンドライフ商會代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
京東博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺灣鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二

花柳病專門 十字病院

院長 龍山老松町 帝國醫科大學選科得業 望月憲磨

今般更に眼科部を設け最新式機械を設置し眼科全部の治療をなし又遺憾なきを期す若し夫れ技術巧拙に至つては乞ふ既往の治績に徵せられんことを

日本大學卒業 日本法律學士 岩本英夫法律事務所

京城本町一丁目八十四番戶 電話六四二番
仁川港新町一丁目九十七番 電話五二七番

業務擴張廣告

由來辯護訴訟鑑定の依賴に應じ居候處曆業務の擴張を圖り熱心と誠實を旨とし事務取扱候

一民刑事辯護、訴訟鑑定、其他請求事件

本宅 京城旭町一丁目 電話七四五番
事務所 本町一丁目南部警察署前

辯護士 莊子斌

●●入院隨意●●

京城本町七丁目

小川病院

電話六五三

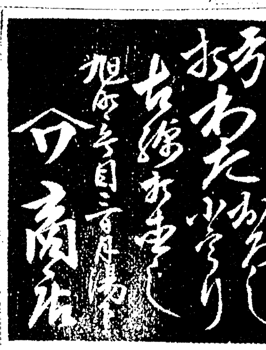
●●入院隨意●●

永樂町三丁目五十五番戶

大東產婆看護婦會

產婆 大島すみ
同 岡上君代

電話(三四)阿比留氏取次



▲料理開店御披露▼

弊店儀都合にて一時閉店致候へども今回從前の通り本日より開店仕候間何卒舊に倍し一層御引立御贔負の程伏て奉願上候謹言

京城西小門通

南方支店

御料理

會席 一圓
洋食 貳十錢
鰻丼 四拾錢

京城大和町三丁目

梅ノ家

電話七三五番

神佛葬具請負並ニ佛具販賣

貧困者は特志取扱申候

京城南山町四丁目(花月向)

左文字屋

湯屋開業

各位益々御淸榮之段欣喜の至りに存上候今回入浴場を設け日韓人各位の御滿足なる御入浴を仰ぐ者にて六月五日より開業仕候處落成仕候に付場の特色とする所は機械は先般來歐米に流行のものを取寄せ使用致し最も弊稀なる嶄新の仕掛に御座候冷暖の自由は御客樣の御勝手にて開場は毎日正午より始め相萬事遺憾なく叮嚀に御便宜を相計り可申候何卒遠近に拘はらず陸續御入浴御引立を願上候

京城永樂町二丁目(永禧殿前より左に入る處)

永樂湯

日本官製上等煙草

ロングライフ

一本黑御定紋付 一小紋染 一友僊染 一御定紋上繪 一浸落シ 一更紗染 一湯熨斗幕 一幟 一洗ハリ 一法被掛 一模樣付 一印入風呂敷 一打其外染物 一古代書更紗 一切御好ニ可應候 一薄色御定紋付

仁川仲町三丁目 白木屋染工場

京城大和町二丁目 白木屋分工場

●●驚く可き染色法の進歩●●但し仕立たる儘

▲洋服類丸染

▲帽子類改造

弊店儀今般左記の處に於て開店仕最新流行の良染法と工師特得の技術とにより如何なる古物も一見新物と異ならざる樣顯る完全に染め直し加ふるに大々的廉價且つ迅速に調達仕候間何卒續々御用命の程伏て奉願上候 敬白

京城新町三丁目十八番戶(井門樓橫入)
橫濱シライ商會出張所

北山染工場

工師 北山義政
出張員 管谷武之助

●●如何なる古物も新調同樣になる●●

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北江堀通五丁目
支店 釜山仁川平壤鎭南浦安東縣

株式會社第五十八銀行京城支店

(電話五八番)

爲替取組先

畿内 二十七ヶ所	東海道 二十八ヶ所	
東山道 十三ヶ所	北陸道 十ヶ所	
山陽道 七十五ヶ所	山陰道 十三ヶ所	
南海道 二十三ヶ所	西海道 三十ヶ所	
北海道 五ヶ所	韓國 九ヶ所	
臺灣 二ヶ所	淸國 一ヶ所	

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓

京城南大門通

株式會社十八銀行京城支店

(電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金

一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

韓國京城

株式會社第一銀行

電話番號 營業用 當直用 營業用 國庫用 度用 分析所用 生 六二番 二番 三三番 二番 六二番

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店、出張所 大阪、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東區新大阪町

韓國支店、出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城

淸國安東縣

右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり

營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

日本郵船株式會社

仁川瀛船出帆廣告

電話十番

仁川海岸通

貨物及船客取扱店

郡回漕會

電話三九番

京城南大門通

巴商店

電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 東丸 七月五日 後時出

●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 月日 後三時出

劍路丸 月日 後三時出

●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 六月十八日 後一時出

山東丸 六月廿三日 前五時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 七月二日 後一時出

●鎭南浦行 第一オハヨー號 後三時出

●釜山出帆、元山淸津、浦鹽行 弘前丸 七月一日

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ